

# 学級活動（人権）学習指導案

## 1 主 題 差別に立ち向かう

## 2 主題設定の理由（省略）

## 3 ねらい

かつて、就職試験の際に行われていた差別選考について学び、同和問題を自分の問題としてとらえ、差別を許さない気持ちと、差別解消に向けて行動していこうとする態度を育てる。

## 4 指導計画

- (1) これまでの学習
- ・道徳 「幸せのカタチ『家』」（わたしの願い）・・・1時間
  - ・道徳 「娘の遺してくれたもの」（わたしの願い）・・・3時間
  - ・道徳 「部落地名総鑑について」（わたしの願い）・・・1時間
- (2) 現在の学習
- ・学級活動「許せない就職差別」（わたしの願い）・・・3時間（本時2/3）
- (3) これからの学習
- ・道徳 「イ ルム 一前一」（わたしの願い）・・・3時間

## 5 本時の学習

### (1) 目 標

かつて使用されていた採用選考応募用紙から、どのような内容が差別選考につながるかを理解させ、就職差別を許さないという気持ちと、公平な社会を実現していこうとする態度を育てる。

### (2) 普遍的な学習のテーマ 法の下の平等

個人人権課題名 同和问题

### (3) UD3視点（焦点化・視覚化・共有化）の工夫

【視】 友達の考えをホワイトボードや黒板に書いて掲示する。

【共】 個人の考えをグループやクラスで出し合う。

### (4) 展 開

学習活動	○指導上の留意点／◎UDの視点からの手立て／評価
1 前時の振り返りをする。	○ 自分の個人的な資質を得点化され、それが不採用の基準になっていたことに対して憤りを感じたことを想起させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     公平な選考とはどのような選考か考えよう。                 </div>	
2 自分たちのグループで応募用紙を作成し、発表する。	○ 選考に必要な項目が何かを考えさせる。 ◎【視】 各グループで作成した応募用紙を大きく掲示する。 ◎【共】 自分たちの考えを全体に発信し、共有する。
3 各グループから出た意見を比較して、その違いから感じた感想を発表する。	○ 全体の中で、個人の意見や疑問を発表しやすい雰囲気を作る。 ◎【共】 個人の考えを全体に発信し、共有する。
4 現在の統一応募用紙を確認し、自分たちの応募用紙と比較し、気付いたことやこれからの自分の生き方について考えたことを書く。	○ 現在の応募用紙になるまで活動を続けてきた人々の思いや、削除された項目の理由について理解させる。 ○ 公平な社会の実現をめざして、これから自分にできることを考えさせる。

※ 指導案を提供いただいた学校では、UD（ユニバーサルデザイン）の3視点を取り入れた授業づくりに取り組んでいます。

【焦点化】とは、授業で教えた内容を絞ったり、活動をシンプルにしたりすること。

【視覚化】とは、情報伝達の工夫（写真、ホワイトボード、ICT等）。

【共有化】とは、話し合い活動を組織化し、考えや意見をクラス全体へと広げる視点。